

ローマ・オリンピック 日本選手成績

1960年 8月26～31日=フリースタイル、9月1～6日=グレコローマン イタリア・ローマ

【フリースタイル】

階級 (出場選手数)	選手名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	7回戦	順位
52kg級 (17名)	松原 正之 (日 大)	● 判定 Ahmet Bilek (トルコ)	○ フォール Oconnor (アイルランド)	○ フォール Nawab (パキスタン)	○ フォール Nikola Dimitrov (ブルガリア)	○ 判定 Elliott Simons (米国)	○ フォール Paul Neff (西ドイツ)	○ 判定 Mohamad Ebrahim Saifpor (イラン)	2位
57kg級 (19名)	浅井 正 (北日本砂鉄鋳業)	BYE	○ フォール Luigi Chinazzo (イタリア)	● フォール Neydet Zalev (ブルガリア)	○ 判定 Yaghoubi (イラン)	○ 判定 Tauno Jaskari (フィンランド)			4位
63kg級 (25名)	佐藤 多美治 (中 大)	○ 判定 Jan Zurawski (ポーランド)	○ 判定 Muhamad Akhtar (パキスタン)	○ フォール Roberto Vallejo (メキシコ)	○ フォール Khadem (イラン)	● 判定 Wladimir Rubaschwili (ソ連)	△ 引き分け Mustafa Dagistani (トルコ)		4位
70kg級 (24名)	阿部 一男 (丸大洋紙店)	○ 判定 Gyula Toth (ハンガリー)	○ フォール Jan Kuczynski (ポーランド)	● 判定 Shelby Autrie Wilson (米国)	● フォール Garibaldo Nizzola (イタリア)				—
78kg級 (23名)	兼子 隆 (中大学友会)	○ フォール Hasanov (ブルガリア)	○ フォール Berger (オーストリア)	● フォール Gaetano De Vescovi (イタリア)	○ フォール Heinz (ドイツ)	● 判定 Ismail Ogan (トルコ)			6位
87kg級 (19名)	永井 隆 (赤城印刷)	○ フォール Hunt (豪州)	○ 判定 Muhammad Faiz (パキスタン)	● 判定 Geza Hoelloesi (ハンガリー)	● フォール Prodan Gardshev (ブルガリア)				—
97kg級 (19名)	川野 俊一 (雪印物産)	○ 判定 Parsons (豪州)	○ フォール Daniel Oliver Brand (米国)	● フォール Gholamreza Takhti (イラン)	● フォール Hermanus van Zyl (南アフリカ)				—
+97kg級 (17名)	石黒 馨 (日本通運)	● フォール Savkus Dsarassov (ソ連)	● フォール Pietro Marascalchi (イタリア)						—

【グレコローマン】

階級 (出場選手数)	選手名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	順位
52kg級 (18名)	平田 孝 (平田商店)	○ フォール Moscov (ブルガリア)	● 判定 Fabra (イタリア)	○ 判定 Frannfors (スウェーデン)	○ フォール Wilson (米国)	● 判定 Sayed (アラブ連合)	4位
57kg級 (28名)	市口 政光 (関 大)	○ フォール、11'40" Lauchle (米国)	○ 判定 Aly (アラブ連合)	△ 引き分け Kritter (ポーランド)	○ 判定 Yasar Ilmaz (トルコ)	● フォール Oleg Karavaev (ソ連)	—
63kg級 (25名)	高比良 政利 (拓 大)	● 判定 Frej (スウェーデン)	● フォール Neumair (ドイツ)				—
70kg級 (23名)	北村 光治 (山本商店)	○ フォール Benmansoul (モロッコ)	● 判定 Kyoesti Emil Lehtonen (フィンランド)	△ 引き分け Awariki (レバノン)	△ 引き分け Ernest Gondzik (ポーランド)		5位
78kg級 (27名)	武田 幸彦 (中大OB)	○ 判定 Oomen (ベルギー)	△ 引き分け Ansboll (デンマーク)	● フォール Gamarnik (ソ連)			—
87kg級 (24名)	青海 上 (明 大)	● フォール Taranu (ルーマニア)	● 判定 Nichiels (ベルギー)				—
97kg級 (17名)	石倉 俊太 (日本カーバイド)	● フォール Popovici (ルーマニア)	● 判定 Wiesberger (オーストリア)				—
+97kg級 (12名)	重岡 完治 (八幡製鉄)	● フォール Bohumilt Kubat (チェコスロバキア)	● フォール Lucjan Sosnowski (ポーランド)				—

※階級はkgで表示。当時の日本での呼称は、52=フライ級、57=バンタム級、62=フェザー級、67=ライト級、73=ウエルター級、79=ミドル級、87=ライトヘビー級、+87=ヘビー級